

「第 6 回川崎市地域福祉実態調査」ヒアリングシート
ヒアリング調査ご協力のお願い

実施にあたって

- 事業状況などについて、パンフレットなどの資料があれば、ヒアリング実施時にご提出をお願いいたします。
- ヒアリング内容は、報告書としてまとめますので、録音をさせていただきます。報告書に残すことを希望されない内容がある場合には、その旨を発言してください。
- メモ欄は、ヒアリングの際に、御自由にお使いください。

※このシートは、御提出していただくものではなく、事前にヒアリングの主な内容をお伝えする趣旨でお渡ししており、ヒアリングの際には、メモとして御活用ください。

1 団体の活動状況について

【調査項目のねらい】

団体が立ち上がって何年くらいか、どのような活動に力をいれているか、主に活動している場所はどこか、活動の動機等をお聴きします。特に最近立ち上がった団体には、きっかけや動機をお聴きします。

メモ

2 活動上の課題とその原因について

【調査項目のねらい】

新型コロナの感染拡大の中で、活発な活動をできないなども含め、活動する上で課題に感じていることをお聴きします。具体的に課題解決に向けて希望する支援など併せてお聴きします。

メモ

2-1. (前回もヒアリング調査した団体の場合) 前回挙げた課題は改善または解決したか
【調査項目のねらい】 前回の調査で出された課題の現状についてお聴きします。
メモ

3. 他団体との交流や連携の状況について (社協との連携を含む)
【調査項目のねらい】 これまでのつながりの実績や具体的な取組、今後の方向性についてお聴きします。また、異なる分野 (地縁組織×ボランティア団体)、(高齢者関係×子育て関係) がつながることによるメリット (デメリット)、その理由などをお聴きします。 (想定される団体) ・自治会・ボランティア団体・老人クラブ・子ども会・福祉施設・サービス事業所・医療機関 ・保育所・幼稚園・学校・地域包括支援センター・民生委員・児童委員・社会福祉協議会 ・市 ()
メモ

4. 今後の活動展開と担い手の確保に向けた取組状況について
【調査項目のねらい】 今後予定している活動や、漠然と考えている活動についてお聴きします。また、担い手の確保に向けて、取り組んでいることなどをお聴きします。 (例：SNS を使って活動案内を広報している、イベントなどでチラシ配布している、地域の回覧版を活用しているなど)
メモ

5. 『川崎市地域福祉計画』等について
【調査項目のねらい】 地域福祉計画を多くの人に知ってもらうために必要なことをお聴きします。地域福祉計画にどのようなことが記載されていると地域福祉の推進に向けて有用かをお聴きします。
メモ

6. 活動等を行う地域の状況と関わりについて
【調査項目のねらい】 活動している地域の特性（人口動態、社会資源など）や地域住民等との関わりをお聴きします（地区カルテを参照）。 地域の中で社会的な孤独・孤立に陥らない環境づくりに必要なことなど、地域の中で課題を感じていて、その課題解決のために取り組んだ方が良いと思うこと、取り組んでいることなどをお聴きします。
メモ

7. 防災に対する意識と備え
【調査項目のねらい】 団体として、避難場所の把握や防災訓練への参加など、防災に関して取り組んでいることをお聴きします。また、いざというときに地域住民同士が助け合う関係を築くには、普段からからどのような活動を行うことが必要と感じているかをお聴きします。
メモ

8. 保健・福祉に関する情報収集や活動の情報発信等について
【調査項目のねらい】 保健・福祉に関する行政からの情報をどのような手段で収集しているかをお聴きします。あわせて、団体の活動をどのような手段で発信しているかをお聴きします。
メモ

9. 今後の地域福祉の推進について（地域包括ケアシステムについて）
【調査項目のねらい】 今後、地域福祉を推進するために、必要だと思うことをお聴きします。その際、団体としてできること、行政として取り組んで方が良いと思うことなどを具体的に聞き取ってください。
メモ

10.その他
メモ

ご協力ありがとうございました。